

寒中お見舞い&ご案内

横浜まちづくり塾（田村塾）2月例会

戦後70年の節目の年を経て、いささか混沌とした政治社会状況のうちに早や大寒、そしてまもなく3・11東日本大震災から5年を迎えようとしています。

日本における安全神話の崩壊は原発にとどまらず、昨年末に発表された「平成27年市民が選ぶ横浜10大ニュース」の第1位は都筑区におけるマンションや中学校等での建物のくい打ちデータ流用等によるずさんな建築工事＝「傾きマンション問題」でしたが、市民生活の安心安全を脅かす事態はさらに続き、悲惨なバス事故や危ない食品の流通などというかたちで明るみに出ています。

さて新春第1弾、2月例会は1980年、故田村明塾長の技監時代最後の年に横浜市役所に入庁、企画調整局企画課を振り出しに、都市計画を中心とする企画・建築畑の業務はじめ区（福祉）、共創事業（公民連携）、そして水道事業など様々な「まちづくり」の実践を積み重ねてきた土井さんから「持続可能な都市プランニング」と題して、横浜の歩みと発展に向けての課題について語っていただきます。年度替わり期の余寒？の一夜ですが、ふるってご参加くださいますようご案内いたします。

記

と き 2月18日（木） 18:30～21:00

会 場 神奈川県民サポートセンター1503号室

テーマ 持続可能な都市プランニング

～横浜の実践から学んだポイント～

講 師 土井一成：横浜市水道局長

定 員 30名（先着定員）

参加費（資料代含む） ・過去に当塾受講の方 500円
・今回初めて受講の方 1000円（初回のみ）

●主催 / 問い合わせ●

横浜まちづくり塾（田村塾）

E-mail fzd03150@live.jp 事務局＝〒247-0002 横浜市栄区小山台1-12-6

追伸 3月例会予告

と き：3月17日（木）

会 場：神奈川県民サポートセンター708号室

テーマ：横浜市立図書館はどうあるべきか（仮）

～市民がつくる街の読書環境～

講 師：福富洋一郎：図書館友の会全国連絡会代表

つづき図書館ファン倶楽部事務局長